

採用ツール「グループワーク面接」

資料



■ 1975年より「ラボラトリー体験学習」を普及

「ラボラトリー体験学習」とは、実習・教育ワークを通して**自ら感じ、考え、体得する**学習法です。
昨今、一般に実施されているワークショップ、グループワークといった形態の**“源”**となっている理論です。

■ 300実習以上のプログラムを開発

各企業様において長年ご利用いただいている「**バスは待ってくれない**」をはじめ、
「**流れ星**」、「**NASA**」、「**砂漠で遭難したときにどうするか**」、「**フライングカー・コーポレーション**」なども
弊社のオリジナルプログラムとして、世の中に認知されています。
大手研修コンサルティング企業様にも様々なプログラムを卸しており、各プログラムには、わかりやすく使いやすい
マニュアルを用意しています。

■ ファシリテーター(講師)の養成と支援

講師派遣だけではなく、**研修内製化・社内講師養成**のお手伝いもしています。
ファシリテーターとして自分自身をさらに磨きたい方のための講座も開催しており、プログラムご使用時のご相談も随時承
っています。

「グループワーク面接」開発の背景

・いかにして「コミュニケーション能力」の秀でた人材を確保するかが、経営者や採用部門の当面の必達課題

”一次面接”いわゆる面接官視点で受験者を評価していた手法では、マニュアルや事前の準備で対策をたててくる受験者に対し、

- ・「受験者本来の姿を見ることが難しくなっている」
- ・「面接官ごとの技量により評価のバラつきが生じてしまう」

というお悩みを感じているご担当者様が多いのではないのでしょうか？より良い人材に会うために、受験者を集めたのはいいが、

- ・「その受験者の面接に追われている」
- ・「面接官に多くの人材を登用できないため、多くの受験者を集めることを躊躇している」

そんな採用ご担当者様も多いはずです。

また、面接では良いと思い採用した社員を、いざ組織に入れてみたところ、

- ・採用前の期待値とは異なる印象、「マッチング」のズレ

を感じたご経験はないでしょうか？そんな採用担当者のお悩みにお応えするべく、プレスタイムが培って参りました約40年の体験学習のノウハウを元に、採用ツール「グループワーク面接」が誕生しました。

・2001年に開発、2012年にリニューアル

◎リニューアルした「グループワーク面接」では、「スコア・カードフィードバック方式」を採用し、就活本や面接訓練で覚えたことは一切通用しない仕組みになっています。

◎ スタッフ（面接担当者）の方々の手をこれまで以上に煩わせることなく、受験者一人ひとりの「素の自分」を浮き彫りにします。

グループワーク面接の特長

1. 大人数を一部屋に集めて、一気に選考ができる

多くの受験者を集め、その受験者の「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」などのヒューマンスキルを観つつ、「短時間で」「一気に」しかも「しっかりと」、少人数の担当者(選考官)で選考ができる採用ツールです。シンプルな設計のため、スタッフの余計な手間もかかりません。

2. グループ全員が参加できる設計になっている

グループワークを進めるには、受験者全員が必ず参加しなければならない設計になっています。また、「スコアカード」として、各人のコミュニケーションの様子がデータとして残り、その後の面接などの選考ステップでの活用もできます。

3. 受験者の素のままの姿を観ることができる

スタッフとしては、マニュアル化されていない、素のままのその人の姿を観たいものです。弊社の「グループワーク面接」は**どんなに事前にマニュアルを読み、準備をしても対応できません。**その時、その場で、目の前の人たちと関わっていく必要があるので、従来ではなかなか観ることの難しかった「受験者の飾らない姿」「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」といった基本的なヒューマンスキルを観ることができます。

ラインナップ1 「ひょうたん島」



■ ねらい：『話す』『聴く』『観る』能力をチェックする。

各自に均等に配られた情報カードを口頭で伝え合いながら、模造紙に「ひょうたん島」の全体図と、道順を描く実習です。20分間で完成させるには、チーム全員の連携とコミュニケーション力が必須となります。

<チェックできる項目>

1. 声の大・小、発音の明確・不明確、内容のわかりやすさなど、その人の言葉の伝え方。
2. 話が長い、簡単で要領を得ているなど、表現の仕方。
3. 聞き流しているのではなく、しっかり聴けているかなど、きく時の姿勢。
4. 話の内容がわからない時に、理解しようとする姿勢。
5. その場を客観的に観察することができる。
6. 観察して見えたことを共有することができる。



■ ねらい：『**討議する**』『**合意する**』能力をチェックする。

コミュニケーション力が問われるコンセンサス（合意形成）の実習です。

「平均値・多数決での決定は禁止」などのルールを守りながら、20分でチームの結論を出します。

「意見をハッキリ言う」だけでなく「気づかう」「まとめる」「ひきだす」など総合的なコミュニケーション力を発揮できる人材がわかります。

＜チェックできる項目＞

1. コミュニケーションを活発にするために必要な能力。
2. コンセンサス（合意）に至るために必要な能力。
3. 全員が協力・協働するために必要な能力。



- ねらい：『通じ合う』『協同する』『挑戦する』能力を
チェックする。

「発言禁止」「ジェスチャー禁止」などのルールのもと、チーム全員で、ある図形を完成させる実習です。言葉でのコミュニケーションがとれない状況で、いかにメンバーに影響を及ぼし、チームの課題達成に貢献できるかが問われます。

<チェックできる項目>

1. 今何が起きているのか、自分は何をしたらよいかを判断。（状況判断力）
2. 情報を渡す意味を『目』で伝えようとした。（暗黙の了解）
3. 何枚で何角形を作るのかを、皆に分からせた。（目標の明確化）
4. こだわらないで、全員が素早く動くようにした。（課題達成力）
5. 出来てない人を優先させる行動。（目標達成力）
6. 全員で目標を達成するための勇気ある行動。（チャレンジ精神）

なぜ、採用面接において「ふりかえり」を行うか

ふりかえりとは？

グループワーク終了後、自分自身やグループについて思い返し、ふりかえり用紙の設問に対して、自分の学びや気づきを記します。主に研修で使われる手法ですが、採用の場で使うことにより受験者本来の姿を知るきっかけになります。

1. 心の動きを観ることができます。

グループワークの様子を観察することによって、受験者一人ひとりの行動の仕方の特徴や課題への取り組み姿勢については、かなり捉えることができますが、**心の動き**まではなかなか捉えることができません。

受験者の「ふりかえり」を聴くことによって、**その人の心の動き、本音の部分**が覗けます。

2. 論理性があるかどうかわかります。

「ふりかえり」の時間では、グループワークの最中の「自分自身」および「グループ」について思い返し、ふりかえり用紙に記入します。

受験者がその場で書いた文章は、その人が**論理性（筋道がハッキリしていること）**を身につけているかどうかを現します。

3. 受験生に好印象を与えます。

受験者は、「ふりかえり」をすることによって自分自身の行動の仕方や気持ちの動きを明確にすることができます。

それは、次の面接へのプラスになるでしょうし、**何よりも本人の成長**に大いに役立ちます。

「グループワーク面接」の導入について

「グループワーク面接」導入の際は、標準パッケージのご購入が必要となります。

◆「グループワーク面接」標準パッケージ・・・各 300,000円[税別]

（「ひょうたん島」、「ラッキー3（スリー）」、「協カゲーム・はなぶさ」のうちいずれかの実習をお選びください。）

※標準パッケージにはマニュアル1冊、教材10グループ分、

スコア・カード25グループ分【6名1グループ】（5点カード：600組、10点カード：150組）が含まれます。

◎ 社内の面接官の方が実施する場合（内製化）

標準パッケージのご購入で実施いただけます。セットに含まれるスコア・カードで足りない場合は、追加でご購入ください。

※スコア・カードは、5点・10点とも100組で各10,000円[税別]です。

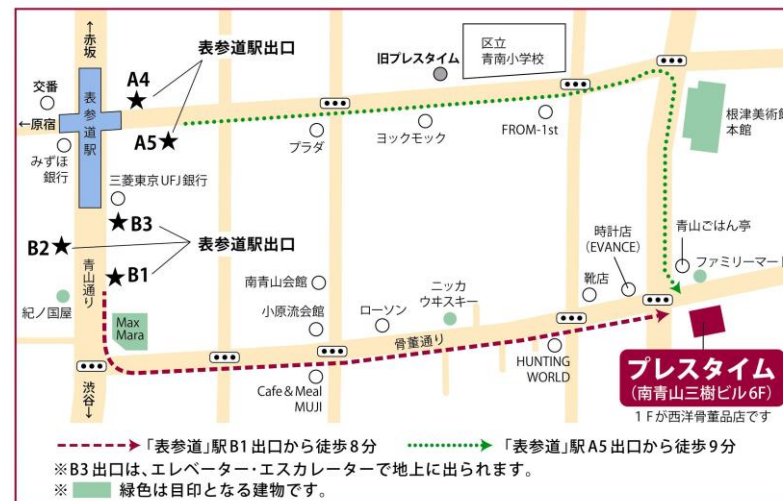
◎ プレスタイムの講師が実施する場合（講師派遣）

講師派遣費用：300,000円[税別]／1日・1名 ※スコア・カード費は別途頂戴いたします。

弊社セミナールーム（東京・表参道）で体験会を開催しております。

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://presstime.co.jp/>

社名 株式会社 プレスタイム
 所在地 〒107-0062 東京都港区南青山6-11-3 南青山三樹ビル6F
 設立 1975年 8月19日
 資本金 2,000万円
 代表者 代表取締役社長 大澤 邦雄
 取引銀行 みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行
 取引先 企業、学校(小、中、高、大学)、
 自治体等の諸団体(約3,000)および個人(多数)



お問い合わせダイヤル 10時~17時(土日祝を除く) **03-3409-1031**

経営理念

人間が人間として心を輝かせて生きるための独創的、本質的なノウハウを創造する

経営理念にある「独創的」とは、「真似ないこと」、「本質的」とは、「逃げないこと」です。